

S S R I

ちよつと一言

Give me a break !

今回の戦闘はハマスが周到に準備をして仕掛けた

藤岡智和

ガザを巡る熾烈な攻防が毎日報じられているが、今回の戦闘はエルサレムをイスラエルが占領した「エルサレム・デー」に合わせてハマスが周到に準備をして仕掛けたものと思われる。

その最大の根拠はロケット弾を 3,000 発以上発射したことで、ハマスは周囲をイスラエルに封鎖されているガザにロケット弾を密かに運び込み大量に備蓄していたと見られる。

ハマスが発射しているロケット弾で最も射距離の短い 122mm Grad 弾でも長さは 3m で重さは 60~70kg ある。 2014 年にハマスがエルサレムに撃ち込んだ M75 と見られる射程 80km のロケット弾は胴径が 200mm の大型である。今回はこの種のロケット弾を 130 発以上エルサレムに撃ち込んでいる。

このようなミサイル攻撃はイスラエルがエルサレムで抗議デモに対して発砲したのに対抗した行動とはとても思えず、かなり以前から周到に準備した作戦と思われる。

そもそもパレスチナで和平が成立すると一番困るのはハマスである。

ハマスはイスラエルに対抗するとして「アラブの大義」の元にアラブ諸国や王族、富豪などから膨大な資金を得て組織を運営している。もしパレスチナ和平が成立しイスラエルと武力抗争を行う意義を失うと当然資金を絶たれ、途端に彼らは食うに困ることになる。

昨年、UAE やバーレーン、オマーンなどの湾岸諸国がイスラエルと国交を正常化或いは接近を深め、アラブの盟主を自認するサウジアラビアでさえもイスラエルへの接近が報じられるようになると、ハマスは安穩としていられないであろう。

(2021 年 5 月 17 日)